

# 迎春

## 平成24年元旦



担当：地域振興課  
電話：272-8080

### 目次

謹賀新年	1
新春インタビュー	1～ 4
各地区秋まつり	3
名松線復旧工事始まる	5
事業に着手 総合文化センター	6
矢頭トンネル(仮称)工事始まる	6
第2回地域審議会	7
白山・美杉地域の医療を考える	7
地域づくりリーダー育成研修会	7
JOIN移住・交流イベント	7
多気の郷元気づくり協議会活動	7
人権を考える集い	7
伊勢本街道ウォーク	7
森林セラピーノルディックウォーク キングIN君ヶ野ダム湖畔コース	7
お知らせ	8

平成24年(2012年)のスタートです。 昨年、大変な出来事が起きた年でした。美杉地域においても、何年ぶりの大きな自然災害が発生し、災害への認識を新たにさせていただきましたところ。

このような中、皆さまには、いろいろな思いを抱きながら、新年をお迎えのことと存じます。

今年も、名松線の復興や文化センター整備など美杉地域にとって、まだまだ課題満載の大事な年です。地域の皆さんが力を合わせて前進しましょう。

皆さまのご健勝とご多幸をお祈りいたします。

## 新春インタビュー

### 結城サハエさん (96歳)

①3月の地震のニュースを見て、「日本は地震国やどこに住んどっても安心できんで、非常の用意をしておかんとあかん」と、若い者にいつも言うています。それと、今年は柿がいっぱいあって、味も結構おいしかったので、嬉しかったです。

②北島神社の庭園と美杉ゴルフ場の建物です。山の中にハイカラな建物が建つとるのにびっくりしました。ええ眺めやなあと、今でも目に浮かびます。

③23年11月9日に裏の庭でこけてから、寝床生活になつとるけど、しっかり食べて、また今迄のように手先の仕事(芋の皮をむいたり、玉ねぎの皮をはいだり)ができるようになりたいです。

多気地域にお住まいの、今年年女を迎えられる結城サハエさんに今年の抱負などを伺いました。

- ①平成23年中で最も印象に残ったこと
- ②美杉地域の中で好きな場所や自慢したいこと
- ③今年の抱負や希望です。



### 【編集の記】

美杉でしか見ることができない「日の出」を新春号の表紙にしたいと思い、大洞山の登山口まで車を走らせました。冬の朝ぼらけは随分と身に伝えましたが、早起きは三文の得。大洞山をめぐらとする様々な小鳥たちの、楽しそうなきえずりを聞くことができました。

日の出にカメラを向けたときは少し雲がかかっていたのですが、それが返って、荘厳な「後光」のようには見えないうちでしょうか。

今年こそ、東日本や紀伊半島の被災地が「日の出の勢い」で復興を遂げるとともに、美杉はもとより、世界中が平穏な年であって欲しいと思います。

## 新春インタビュー

美杉地域にお住まいの、今年年男、年女を迎えられる方々に今年の抱負などを伺いました。ご協力いただきました皆さんには、この場をお借りして、心からお礼申し上げます。

インタビューの内容は、①平成23年中で最も印象に残ったこと、②美杉地域の中で好きな場所や自慢したいこと、③今年の抱負や希望です。なお、美杉小学校5年生の皆さんには、「**将来の夢**」を書いていただきました。



### 中子光夫さん（84歳）

- ①家庭的には平穏無事な1年でしたが、台風12号の際に発生した土石流は、昭和57年災害の後に造られた砂防ダムで安心していただけに、大変なショックを受けました。
- ②歴史遺産としては北畠。大洞山の懐に抱かれた里、伊勢地から眺める大洞山は絶景です。
- ③平成23年は自然災害だけでなく、円高や不況など経済的にも暗い1年でした。美杉地域も農林業に光が見えなくなってから店も減り、人口減少と高齢化に歯止めがかかりません。新しい年は、この悪い流れを断ち切る年になってくれればと願っています。

### 森 千恵さん（72歳）

- ①3月11日の東日本大震災の津波の映像と被災地の状況の映像です。本当に起こったことか不思議な感じでした。
- ②大半が山の地域なので、紅葉が自慢であり、好きな場所です。
- ③今年も来年もその次ぐ年も、一日一日元気で明るく今できることを精一杯生きること。地域づくり協議会の活動など、3人寄ればのところへは積極的に出向いて活動したいと思っています。



### 西山政志さん（60歳）



- ①一昨年の12月に民生委員を拝命し、長男が結婚をし、仕事も変わり、2011年は色々な意味で初めての体験、初めて知ったこと等、驚きの連続でした。その中でも民生委員の活動の大変さと重要さには、本当に驚きました。研修会、講演会等に参加させてもらって、民生委員として何が必要かを勉強させていただきました。

②好きな場所は、若宮さんです。氏子でもあるのですが、中学生の頃から、夏の暑い日に若宮さんの川原で、よく読書をしていました。自慢したいことは、自治会で毎月1回行っている「生き生き集会」です。

③民生委員2年目を迎え、去年以上の活動をしたいと思っています。また、還暦ということで、何か思い出に残ることができればいいなと思っています。次男の結婚も4月にありますので、楽しみにしています。孫の顔をみたいです。

### 嶋田由美子さん（48歳）

①東日本大震災。防災意識の必要性を再確認し、今普通に生きて生活できていることが幸せていうことも再確認しました。

②緑がいっぱい。自然がいっぱい。サルやシカもいっぱい……ある意味自慢です。好きな場所は、家が一番！

③家庭と仕事の両立はもちろん、昨年末から始めたジムにもしっかり行き、健康管理にも気をつけたいです。





## 新春インタビュー

### 茨木克典さん（36歳）

- ①東日本大震災。1年ほど前に茨城県に出張に行ったのですが、テレビで見るとそのときに訪れた場所も大変な被害を受けていました。出張のときにお世話になった方々には大した被害がなく一安心しましたが、原発事故の福島県をはじめ、被災地の方々の生活を思うと心が痛みます。
- ②恵まれた自然環境を、これからも大切にしていきたいと思っています。
- ③今年こそ平穏な年であって欲しいし、冷え続けている景気の日も早い回復を望んでいます。



### 小竹一葉さん（24歳）

- ①東日本大震災です。一日も早い被災者の方々の生活の安定と被災地の復興を心から願っています。個人的には、友達と没頭したマリンスポーツとウインタースポーツが印象的です。
- ②大自然も自慢できますが、いつも外で会ったら声をかけてくれるおっちゃんやおばちゃんの方が一番の自慢！すごく温かい人たちがいっぱいいて大好きです。仕事帰りに見える大きな星も大好きです！
- ③仕事と遊びに全力投球します。自分らしさを忘れずに、色んなことにチャレンジしたいです。



## 各地区の秋まつり開催

11月は、各地区で秋まつりが盛大に開催されました。

また、竹原、多気地区では、地元地域づくり協議会や森林セラピー基地運営協議会、伊勢本街道を活かした地域づくり協議会が連携して、秋まつりと合わせたノルディックウォーキングや歴史街道ウォークなどのイベントが開催されました。



## 新春インタビュー

### 将来の夢

### 美杉小学校5年生（12歳）

- 池山優花さん「かんごしさんになりたいです。私もみんなの役に立ちたいし、みんなを笑顔にしたいからです。」
- 井上陽賀さん「パティシエになることです。自分の作ったおかしで人が幸せになってもらいたいからです。」
- 今井一偉さん「ラーメン屋です。僕が4才ごろに食べたラーメンがおいしかったからです。」
- 今井茉裕さん「陸上の100mでオリンピックに出て、家族をよろこばせることです。」
- 岩田千明さん「映画はいゆうになって、お母さんを楽にしてあげたい。」
- 江村有季穂さん「ほいくしです。小さい子のめんどうをみるのが好きだからです。」
- 岡田彩佳さん「お花屋さんになる事です。花を見ているときれいだし、やさしい気持ちになれるからです。」
- 片田智紀さん「考古学を学びたいです。わかっていない事を知りたいからです。といてみたいなどは、ムー大陸です。」
- 金子龍馬さん「野球選手になることです。ぼくは阪神ファンだからです。」
- 菊田将大さん「プロ野球選手になりたいです。巨人の坂本のファンだから、いっしょに野球をやりたいです。」
- 佐野元輝さん「へいぼんにくらせたらいいです。夢をかなえても、へいぼんにもくらせないっていうのはいやだからです。」
- 嶋田和也さん「けっこんです。家ぞくなかよくなりたいたいです。ほかには、お金がたまる仕事です。」
- 田上葵衣さん「かんごしです。人だすけをしたいからです。」
- 田中沙弥さん「トリマーです。動物をきれいにしてあげたいのと、動物が大好きだからです。」
- 中井甚太さん「機械をいじるのが大好きです。工業高校をでて、家の仕事をしながら機械をつかいたいです。」
- 中島稔太さん「サッカー選手になりたいです。シュートをきめて、お金をかせぎたいです。」
- 中森音緒さん「美容師です。お父さんは元美容師なので、いつでも切ってほしいときに切ってくれます。私もみんなのかみを切って、喜んでほしいです。」
- 長谷川太一さん「プロ野球選手になる事です。お金持ちになって、お母さんやお父さんに楽しめたいです。」
- 日置優香さん「保育園の先生です。私が保育園の時の先生がとてもやさしかったので、保育園の先生になりたいと思いました。」
- 藤田野乃香さん「保育園の先生です。小さい子が好きだからです。」
- 藤田真歩さん「小さい子供が好きなので、保育士になりたいです。」
- 前川広晴さん「料理人です。家族や近所の人に食べてもらって、笑顔になってもらうことが好きなので、将来の夢にえらびました。」
- 三浦三郎さん「世界一周をしてみたい。めずらしい動物や物を見たい。」
- 村林明日香さん「びよう院の店員さんになることです。」
- 森 康貴さん「プロ野球選手です。今は、ソフトの練習をがんばっています。」
- 山岡侑夢さん「サッカー選手になりたいです。サッカーが好きだからです。」
- 米澤夢翔大さん「高校まで硬式野球を続けて、巨人の坂本選手みたいなバッティングと守備もできるプロ野球選手になりたいです。」



平成23年の美杉小学校は、台風の影響を受けて、激動の年でした。地域の方々には、ご心配をおかけし、さらにはご声援をいただきまして、本当にありがとうございました。臨時校舎に移ってから約2ヶ月が経ちました。予定しておりました10月末の収穫祭は、授業参観へ変更させていただきましたが、修学旅行や各学年の社会見学、校外学習等は天候にも恵まれ、無事に実施することができました。また、奥津地区で開催しました持久走大会には、たくさんの方々に応援に来ていただき、誠にありがとうございました。皆さまの温かいご声援をいただいて、子どもたちも元気に走り抜くことができました。新年を迎え、子どもたちは新たな希望を抱きながら、元気に日々の学習に取り組んでおります。

教職員一同、さらに子どもたちの安全安心な学習環境の確保に向け努力してまいります。一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

美杉小学校教職員一同



## 名松線復旧工事始まる

11月28日、待ちに待った名松線復旧に向けた治山事業の工事がいよいよ始まりました。初めて着手された今回の復旧工事は、竹原地区の門間地内で県が施工する谷止工事で、新たな土砂の流入を食い止めるための堰堤を設置するものです。

現場では、作業員があわただしく動き回る中で、ショベルカーなどの重機の音が響きわたり、地区住民が一同に心待ちしていた名松線復旧への希望の槌音のように聞こえました。

市の都市計画部交通政策課名松線復旧推進担当によりますと、県は今後も関係者との協議が整ったところから工事に入る予定をしており、平成27年度まで同様の工事が続けられるとのこと。また、市が行うこととなっている水路整備工事については、既に基本設計は終了し、詳細の設計を行うため現在JR東海と協議を行っており、平成24年度から工事に着手する予定で準備を進めているとのことでした。

本年度5月20日にJRと県と市の間で締結された「協定書」によりますと、県が治山事業、市が水路整備事業を行い、県と市の事業の完成に合わせてJRによる鉄道の復旧工事を完了し、名松線の運行を再開することになっていますので、このまま順調に工事が進み、一日も早く運行が再開されることを望みたいと思います。



## 名松線復旧工事開始に寄せて

### 名松線を守る会会長 結城 實

竹原の門間地区の山を手始めに、砂防工事が始まりました。そして、中原地区の測量も行われています。美杉地区民はもとより、津市内の名松線を愛する多くの人々が待ちに待った工事が着工されたのです。

1年前、松田前市長から全線復旧もあり得るとの連絡があり、23年5月には、前葉新市長から、三者（JR、津市、三重県）の役割分担を決定する協定書が結ばれた旨の連絡がありました。そして、交通政策課に名松線復旧推進担当ができました。半ば諦めていた軌道車が再び走ることへの期待が大きく

膨らみ、今回の工事開始をみて、元に戻る確信を得て、心から嬉しく思いました。

名松線が美杉から消えることが、過疎化を益々促進し、美杉のイメージが悪くなること、高齢者や病人、通学の生徒にどれだけ不便をかけることになるのかとの危機感から、名松線の復旧にご努力いただいた方々とともに、喜びを分かち合いたい気持ちで一杯です。会員の皆さんに、厚く御礼申し上げます。

今後は、できるだけ多くの方にご利用いただき、美杉の活性化の一助としていきたいと考えています。ご協力をお願いし、喜びのことばといたします。

### 美杉自治会連合会 会長 岡田 武士

昭和10年12月に伊勢奥津まで開業した名松線は、今年で76年になります。子どものころから毎朝名松線の汽笛が目覚めていたのが、懐かしく思い出されます。未曾有の被害をもたらした伊勢湾台風や57年災害では1年余りも運休となりましたが、通勤や通学をはじめとするあらゆる生活の足として運転が再開され、名松線とともに美杉町も発展してきました。その名松線が平成21年10月に来襲した台風18号の被害で不通になり、家城と伊勢奥津間がバスによる代行運転となり、大変さみしい思いでいます。

2年以上も運休したことは初めてで、一時は家城と伊勢奥津間が廃止との発表がありましたが、全市民が一丸となった署名運動や守る会の運動が奏功し、JR東海、県、市の3者が協定書を交わし、5カ年計画で復旧していただくことになりました。そ

してこのたび、復旧に向けた県による治山工事が始まりましたことは、町民みんなの悲願への第一歩として、この上ない喜びを感じております。

過疎化や高齢化が著しい美杉町では、名松線は生命線であり、運行再開は住民の通院や通学、森林セラピーや伊勢本街道、北畠の歴史を生かした町おこしなどの大きなチャンスです。守る会が中心となった乗車促進活動も始まりました。これからは沿線地域や他の団体と連携をして、名松線の日も早い運行再開と存続に向けたビジョンを確立していかなければなりません。自治会連合会も守る会と連携して、その一翼を担っていききたいと思います。

## いよいよ事業に本格着手 津市美杉総合文化センター

進入路となる県道太郎生伊勢八知停車場線の拡幅工事が始まり、津市美杉総合文化センター整備事業推進委員会との協働で進めてきた事業を本格的に着手します。

同センター本体の設計作業も10月末から始まっており、約1年間かけて設計図書を完成する予定です。

来年度には旧美杉東小学校等の解体工事を行い、平成26年度の同センターの供用開始に向けて、関連工事を行っていきます。

建設工事に当たりましては、大変ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。

### ◆今後の事業予定

平成24年度	旧美杉東小学校校舎等の解体
平成25年度	総合文化センターの建設
平成26年度	総合文化センターの供用開始（4月） 美杉庁舎・総合開発センターの解体
平成27年度	美杉庁舎・総合開発センターの跡地整備

## 矢頭峠トンネル(仮称)工事始まる

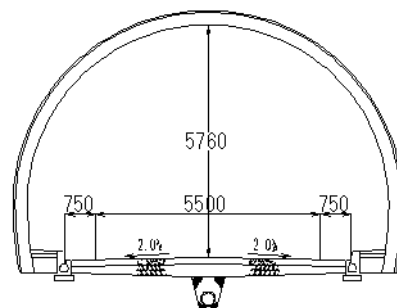
このたび、美杉町下之川と一志町波瀬を結ぶ県道一志美杉線（矢頭峠バイパス）道路改良（矢頭峠トンネル（仮称））工事が着工されました。

この一志美杉線は美杉町と一志町を結び、沿線住民の重要な生活道路としての機能はもとより、国道368号や369号に接続して、本市をはじめとする伊勢湾臨海部と中山間部や関西圏とを結び、産業・経済及び文化の交流に欠かせない広域的基幹道路です。

この矢頭峠トンネル（仮称）が完成すれば、一志美杉線全線整備への大きな一歩となることから一日も早い完成が待たれます。



【位置図】



【標準断面図】

【工期】 平成23年10月18日～平成26年12月30日

【工事内容】 トンネル延長 1,637m、道路幅員 5.5(7.0)m

【発注者】 三重県

【施工者】 鹿島・日本土建・勢和特定建設工事共同企業体（矢頭峠トンネルJV）



## 第2回美杉地区地域審議会 11/30



11月30日(水)、美杉総合開発センターで、第2回美杉地区地域審議会が開催され、平成24年度地域づくり事業にかかる予算要求の考え方などについて、協議されました。

また、津市美杉総合文化センター整備事業推進委員会での現庁舎及び開発センター跡地の利用要望などの協議報告がありました。

## 地域づくりリーダー育成研修会

11月28日(月)と12月9日(金)、美杉総合開発センターで、本年度第3回と最終回のリーダー育成研修会が開催され、各地域づくり協議会から代表して参加された受講者は、次年度の地域づくり活動へ向け熱心に講義を受けられました。



## 多気の郷元気づくり協議会活動

多気の郷元気づくり協議会は、11月27日(日)第2回「歴史の郷ウオークと芝桜の植栽」イベントを開催し、桑名や伊勢など遠方からも含め40人の参加者がありました。

「多気北畠歴史探索コース」を、伊勢本街道を活かした地域づくり協議会に所属する語り部ガイドの案内で、ウォーキングを楽しみ、お昼は多気の食材を使った炊き込みごはんとお鍋の豚汁が振るまわれました。

その後、道の駅美杉に1,000株の芝桜を植栽し、参加者は「来年の春が楽しみ」「必ず見に来ます」と看板に思いを込めて寄せ書きをしました。



協議会のメンバーは、「私たちは、多気の郷が芝桜で一杯になる事が夢です。その夢にまた一歩近づけたイベントとなりました。」と話していました。

## 伊勢本街道ウオーク 11/20

11月20日(日)、伊勢本街道を活かした地域づくり協議会が、ウオークイベントを開催しました。

遠くは伊勢・鈴鹿方面等からも参加いただいた27人の参加者が奥津宿・多気宿を散策されました。

今回のイベントは、地域との触れ合いを提供する目的もあり、多気地区文化祭にも参加されました。

イベント終了後に行ったアンケート調査では、大多数の方に大変素晴らしかったと回答いただき、中でも丹生保神楽保存会の方々による獅子舞がよかったと回答されていました。

昼食のおこわ・味ご飯・うどん等も好評でした。多気地区文化祭実行委員会の皆様のご協力に心から感謝します。

## 白山・美杉地域の医療を考えるフォーラム

過疎・山村地域の重要な課題である「地域医療」について、地域の方々と一緒に課題解決に向けて地域の医療を考えることを目的に美杉地域まちづくり推進連絡協議会が主催した「白山・美杉の医療を考えるフォーラム」が美杉総合開発センターで開催されました。

11月24日(木)開催の第1回目は、津市の医療の状況や県立一志病院の現状などが報告され、参加者は熱心に耳をかたむけられていました。

12月14日(水)開催の第2回目は、小グループに分かれて、地域が医療について、地域の取り組みとして何ができるかなどを話し合いました。

この取り組みのまとめとなる第3回目は、1月18日(水)午後7時から美杉総合開発センターで開催されます。皆さん是非、ご参加ください。

## JOIN移住・交流イベント 11/23



11月23日(水・祝)、東京都立貿易センターで、「JOIN移住・交流イベント2011」が開催され、津市森林セラピー基地及び津市空き家情報バンクのPRを行いました。当日は、田舎暮らしを希望する大勢の家族連れが会場を訪れました。

また、マルシェブースでは、中太郎生西グリーンツーリズム推進委員会が倶留尊山湧水米の販売を行い、美杉地域の魅力をPRしました。

## 人権を考える集い 12/3

12月3日(土)、美杉総合開発センター大集会場において、美杉人権を考えるつどいが開催されました。

第1部は、小中学生による人権作文の発表と中学生による人権アピール、第2部では、「ひとりひとりが、最後まで、最善に生きる世の中をめざして」と題して、金香百合(キムカユリ)さんにご講演をいただきました。

当日は、約100人が参加され、すべての人が幸せに生きることに必要なことについて、学び合いが行われました。



## 森林セラピーノルディックウオーキング IN 君ヶ野ダム湖畔コース 11/20

11月20日(日)、津市森林セラピー基地運営協議会主催の森林セラピーノルディックウオーキング IN 君ヶ野ダム湖畔コースが開催されました。

当日は、亀山市や松阪市、津市内から50人の参加者があり、君ヶ野湖畔コースをノルディックウオーキングしました。

またこの日は、竹原地区の文化祭にも参加し、地域の方との交流も行い、参加者はスポーツ・文化・芸術・食欲の秋を一日で全て満喫しました。

## お知らせ

## 津市空き家情報バンク利用物件改修費補助金制度のお知らせ

美杉地域への移住・交流を推進するため、津市空き家情報バンクの利用促進を図ることを目的に津市空き家情報バンク利用物件改修費補助金制度を制定しています。

この制度は、津市空き家情報バンク制度により、空き家を購入された方を対象に水回り部の改修工事（浴室・トイレ・炊事場等）にかかる費用の2分の1（限度額50万円）を補助するものです。

詳しい内容等、申請については地域振興課までお問い合わせください。

お問い合わせ：美杉総合支所地域振興課

(☎) 272-8082



## 浄化槽設置整備事業補助金交付制度のご案内

専用住宅に浄化槽を設置する場合は補助金制度が受けられます。

※専用住宅とは、専ら居住の用に供する家屋をいいます。

浄化槽の大きさ	補助金の限度額
5人槽（165㎡未満）	536,000円
7人槽（165㎡以上）	581,000円
10人槽（2世帯）	1,044,000円

お問い合わせ：環境保全課

(☎) 229-3140 (fax) 229-3354

美杉総合支所地域振興課

(☎) 272-8085 (fax) 272-0439

## 健康相談

下之川地域住民センターで健康相談を実施しています。

今月の健康度チェックは「食べ過ぎにご用心！バランス食について」です。是非ご利用ください。

自分の健康は自分で守り、いきいき人生をたのしみましょう。

月	日	時間	健康相談	健康相談員	健康度チェック実施内容
1月	17日(火)	9:30~12:30	○	河野保健師	食べ過ぎにご用心！バランス食について
	24日(火)	9:30~12:30	○	本郷保健師	

健康度チェック時間・・・1回目 10:00~10:30 2回目 11:00~11:30

今月は第1・2週の月曜日は休日、祝日のため健康相談はお休みとさせていただきます。

お問い合わせ：(☎) 276-0333 (相談時のみ)

(☎) 272-8083 (相談日時以外) 美杉総合支所市民福祉課につながります。

## 配食サービス事業【高齢サービスⅡ】

調理が困難な高齢者等に食事をお届けすることで、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認等を行い在宅での健康的な生活や自立した生活を送るための支援を行います。

●対象者 おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者または高齢者のみの世帯に属する心身の障がい等によって調理が困難な人

●利用料 1食当たり400円（1食/日 週6食以内）

●お問い合わせ：高齢福祉課 (☎) 229-3156 美杉総合支所市民福祉課 (☎) 272-8083

～森もり元気になるに！美杉～ 美杉健康づくり推進協議会だより ～みんなで料理をしませんか～

元気になる源は、食事・運動・休養です！今回は、美味しくてからだにやさしい大根を使った料理を計画しました。

私たち“健康づくり推進員”と一緒に大根料理に挑戦しませんか。ご家族・お友達、お誘いの上、是非ご参加ください。

日時：平成24年1月17日（火）10:00～14:00

場所：美杉総合開発センター 調理室

定員：先着20人

参加費：100円（保険代含む） ※当日徴収します。

持ち物：エプロン・三角巾・ふきん・手拭きタオル

申し込み先：平成24年1月10日（火）までに美杉保健センターへ (☎) 272-8089



【電話番号】 美杉総合支所

地域振興課 059(272)8080-8082-8085

市民福祉課 059(272)8083-8084

## 行政相談

日時：平成24年1月19日（木）13:30～15:00

場所：グリーンハウス美杉（美杉町八知）

\*主な電話番号を記載しましたが、その他の電話番号などは、電話帳でお調べいただくか、美杉総合支所へお問い合わせください。